

**中止
相次ぐ**

子どもたちの 五輪観戦

**青梅市も
早く決断を**

学校予算削減を あらため増額を

6月議会 私の一般質問

6月議会の一般質問では、私は、コロナ禍の学校運営について質問しました。

昨年来、学校では、修学旅行や各行事が延期・縮小・中止され、子ども達からは「なんでオリンピックはやれるのに運動会はできないの?」と疑問の声が聞かれます。

先生からも、「密になるので、理科の実験ができない」、「今年は水泳授業が少人数で実施のため、人手の確保が大変」など、コロナ禍のもと、学校運営は様々な困難にぶつかっています。



私は、①問題が多く、学校に大きな負担となる五輪観戦は早く中止の決断を、②学校の運営費削減をやめ、対策に必要な予算を、の2点を求めました。

※五輪観戦(学校連携観戦)は、都内の自治体で「中止」が相次いでいます(裏面で紹介)

point

青梅の小中学生7000人

五輪会場には電車で移動

▶ **感染や熱中症の危険性**

青梅市では全小中学校の合計約7000人(小2,3年生~)が観戦の予定です。

バスでの来場は認められず、電車を利用するため、コロナ感染の危険性や、熱中症が心配です。道中の会話や競技場での応援もできず、先生たちも経験がない五輪会場では、トラブルへの対処も困難です。

市は学校の予算を削減

▶ **コロナ対策で費用は増加**

換気をしながらのエアコン、手洗い推奨、緊急事態のお知らせのプリント...コロナ対策のために学校の費用は増加しているのに、市は今年度、これらの学校の予算を10%も削減してしまいました。

学校の運営予算は、削減ではなく、むしろ増額が必要です。

五輪の開催は、今からでもストップを!

日本共産党青梅市議団

青梅市議会議員

井上たかし

活動報告 2021年7月号

ご連絡は090-8489-5260

inouetakashi99@gmail.com



